

総合的な 移住定住の政策 を考える

総務文教常任委員会行政調査

「移住定住」を主題に総務文教常任委員会所管事務の行政調査を実施しました!

- ○埼玉県滑川町 滑川町役場
- ○栃木県宇都宮市 宇都宮ライトレール
- ○栃木県下野市 帝国繊維株式会社
- ○栃木県栃木市

塚田歴史伝説館と蔵の街遊覧船

11月7日 滑川町役場(百年後も消滅しない町) 移住・定住施策

滑川町は埼玉県の中央に位置し、「住んでよかった、生まれてよかったまちへ、住まいるタウン滑川」を目指し、東武東上線駅の開業や区画整理事業の進展により、人口の増加が続き、全国で8つの「人口が安定し百年後も消滅しない町」に選ばれて、埼玉県で唯一の「自立持続可能性自治体」となっている。「こども医療費無料化」、「学校給食費の無償化」などによって、30代、40代の人口が増加。将来的に持続可能な町へと進化し続けている。



滑川町と比べ、当町は宅地条件や交通の利便性など

では劣るが、子育て支援については引けを取っていなかった。さらに、住居や雇用など横断的な対策を 積極的に取り組むことで、移住、定住の成果が表れてくると感じられた。

11月6日 帝国繊維㈱下野工場、宇都宮ライトレール、塚田歴史伝説館、蔵の街遊覧船

帝国繊維㈱下野工場では、「大量送排水ハイドロサブシステム」を調査した。災害時に、標準装備で毎分最大3千リットル、追加装備で毎分1万5千リットルの大量送排水が可能である。また、この工場では、全国の消防本部からの個別ニーズに即した仕様で救助工作車を製造している。当町でも、防災設備の充実や危機管理能力の向上が期待される。





宇都宮ライトレールに試乗した。一昨年、次世代型路面電車として開業し、JR宇都宮駅から工業団地までの約15kmを運行、朝5時台から深夜にかけての小刻みなダイヤとなっており、非常に利便性が高い。初年度から純利益5,700万円の黒字を達成している。地方鉄道、バス経営は厳しい状況であるが、他の交通機関と共存する交通手段として期待されていた。

栃木市は、江戸時代、巴波川(うずま川)の舟運で、江戸との交易を盛んに行い、豪商たちが蔵を建て並べ、「蔵の街」あるいは「小江戸」「関東の倉敷」とも呼ばれ、近年では「美しいまちなみ大賞」を受賞している。

また、塚田歴史伝説館は景観重要建造物に指定され、郷土の歴史が紹介されており、蔵の街遊覧船は、江戸時代の 舟運を再現して、乗船客に情緒ある蔵の街並みを楽しめる ような工夫をしていた。













里山の 産業振興政策を 考える

産業厚生常任委員会行政調査

「地域振興」を主題に産業厚生常任委員会所管事務の行政調査を実施しました!

- ○長野県小布施町 小布施町役場・修景事業の中心地 ○新潟県津南町 津南町役場
- ○新潟県十日町市立 里山科学館 森の学校「キョロロ」

11月7日 小布施町役場 町並み修景事業

小布施町は、長野県内最小面積の自治体だが、 移住相談が多く、人口減少が極めて緩やかである という特長も持っていた。江戸時代から続いてい る町並みの修復や継承は民間企業のほうから始まっており、現在は、町の景観条例も制定されてい る。条例による対象区域の建物が新、改築される 際には、町が委託した建築士と協議することが義 務付けられ、食い違いが生じないようになっない た。また、中心地区を歩いて確認したが、路地裏 や個人宅の庭を住民や観光客が自由に通行してい る様子が伺えた。小布施町には古くから「お庭御 免」という風習があった。



11月8日 津南町スマート農業実証プロジェクト、十日町市立里山科学館



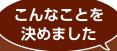
津南町役場を訪れ、農業担当者や議会議長が 出席される中で「スマート農業実証プロジェクト」の説明を受けた。農業従事者の負担軽減の ため、農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に参画し、県の指導を 受けながら実施されていた。

様々な課題がある中で、当町と同様に後継者 不足が喫緊かつ最大の課題であり、広域連携、 農業法人の再編成などが検討されていた。また 「土づくり事業」や「雪室による生産調整」な どにも取り組んでいたが「津南ブランドの品質 や知名度の向上は農業従事者のため」と強く意 識され、農業振興への熱意が感じられた。

里山科学館・森の学校「キョロロ」は、年間入込客数約60万人、60億円以上の経済効果があるといわれる越後妻有トリエンナーレ「大地の芸術祭」の拠点施設として2003年に誕生した。里山の大自然を活かした体験学習、市民参加型の研究イベントや学会研究者の積極的な参入を行い、ユニークな手法での里山保全や持続可能な地域づくりを目指していた。博士号を持つ学芸員など、専門性の高いスタッフが集まっており、イベント開催を始め、デジタルアーカイブ、VR体験設備や多言語表示方式などを採用して、国際交流を伴った観光事業を展開し、人件費を除いては黒字の経営状況となっていた。



今回の行政調査を元に各委員会で代表質問をいたしました。 (P7~P8に掲載)



第4回定例会の主な議案の内容

今回の第4回定例会は12月4日(水)から12月6日(金)までの3日間の会期で行われ、条例の改正、補正予算、人事、契約など、20の議案が審議され、原案どおり可決及び同意されました。

指定金融機関の変更について

令和7年度からの町指定金融機関を会津信用金庫に変更することを可決した。

令和6年度柳津町一般会計ほか、2の特別会計、2の企業会計の補正予算

一般会計を含む5つの会計の補正予算を可決した。

【主な内容】(一般会計) 地域おこし協力隊報酬の減額、超過勤務手当の増額、各種修繕工事の増額など (国保施設) 医薬材料費 (新型コロナウイルスワクチン購入) の増額 (簡水・下水) 修繕費・動力費 (ポンプ電気料など) の増額

農業委員会委員の任命について

農業委員会等に関する法律の規定により、町農業委員会委員の任期満了に伴う新たな委員9名の候補者を任命することに同意した。

【追加議案】「柳津町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例」・「町長等の給与及び旅費に関する条例」・「職員の給与に関する条例」の一部を改正する条例について

国の人事院からの勧告により、国家公務員や都道府県職員で給料等の増額改定がされるのに応じて、町の特別職の報酬や職員の給与等を見直しするため、3つの条例の一部を改正する条例を可決した。

【追加議案】令和6年度柳津町一般会計ほか、3の特別会計、2の企業会計の補正予算

人事院勧告による人件費の増額を実施するため、一般会計を含む6つの会計の補正予算を可決した。 (※補正後の額は下表のとおり。なお補正額は今回の定例会での2つの補正予算を合算した金額です)

●12月補正後の令和6年度予算

				12月補正後	補正額
一般会計			計	46億1,460万2千円	8,146万3千円
特	土	地 取	得	30万 円	0円
	国保	事業勘定		4億7,938万9千円	92万3千円
別		施設甚	力定	6,681万8千円	619万2千円
会計	後	期高	齢	6,197万2千円	49万8千円
	介	護 保	険	6億6,068万8千円	82万6千円
	町営スキー場			945万5千円	0円
公営企業	簡	易水	道	5億9,466万2千円	4,053万9千円
	下	水道		3億9,896万4千円	529万3千円
	合	計		68億8,685万 円	1億3,573万4千円

【追加議案】工事請負契約の締結について

工 事 名 大成沢・冑中地区導水施設等

整備工事

契約金額 1億2,375万円

契約相手 佐久間建設工業株式会社

(三島町)

【追加議案】工事請負契約の締結について

工事名 大成沢・冑中地区浄水設備

整備工事

契約金額 7,150万円

契約相手 理水化学株式会社仙台支店

(宮城県)

【追加議案】工事請負契約の変更について

工事名 柳ヶ丘団地1号棟外壁改修工事

契約金額 9.531万9千4百円

契約相手 滝谷建設工業株式会社 (三島町)

議案の審議 (12月6日)



定例会の最終日に議案審議を行いましたが、質疑応答の一部(令和6年度一般会計補正予算)を 要約して、ご紹介します。

【質問】商工費について

今回の補正は町民センター等々の修繕費用ということだが、その詳細について伺う。

【回答】(地域振興課長)

・消防署の設備点検の指導事項に基づくもので、清流苑とせいざん荘で消火器、自動火災報知設備の 受信機バッテリー、煙感知器、誘導灯など。町民センターでは、浴室系統の排水設備の修繕経費とな っている。

【質問】超過勤務手当について

当初では、前年あるいは近年の実績を踏まえ予算編成をしていると推察しているが、それでも、 このように補正での対応が出てくるが、その要因に関して伺う。

【回答】(副町長)

・前年や2、3年前の実績を見て計上しているが、多少減らしながら進めている。緊急で増えた業務については超過勤務で対応している。業務の効率化を図り、8割程度で押さえて進めていきたい。

【回答】(教育長)

・学校施設の関連工事による予定以上の対応により、業務量がかなり増えた。美術館では、展示替え 等に地域おこし協力隊の力を借りようと思っていたが、応募者がいない状況もあって現在のスタッ フで対応したため、業務量が想定より多くなっている状況と捉えている。

【質問】事務事業の見直しについて

事務事業の見直しを行うと聞いているが、何を見据えて実施する考えか伺う。

【回答】(町長)

・職員の仕事量あるいは質についての見直しは、これから、ずっとやっていかなくてはいけないことだと思う。新しい仕事が増えれば、古い仕事は、ある程度やめていく形をとらないと増えていく一方になる。職員を増やし続けることはできないので、やるべき仕事、効果的に進めるべき仕事かどうかの見極めをやっていきたいという意味で、事務事業評価が挙げられており、事務事業評価自体がDX(デジタル改革)そのものだと思っている。

【質問】財政調整基金の取崩しについて

今回の補正(人事院勧告による人件費等の補正)によって、基金を取り崩した場合、その後の基金の残高を教えていただきたい。

【回答】(総務課長)

・11月現在の財政調整基金の残高が8億2,800万円ほどとなっている。補正前の取崩し額が1億6,000万円、今回2,000万円が追加となるので、最終的に1億8,000万円を取り崩すことになる。その結果の基金残高は6億4,800万円ほどになる。

※財政調整基金…財源不足や経済状況の著しい変動等に備えるための積立金(標準財政規模の10%程度が適正な積立て金額とされている)

【質問】国土調査費について

どこを国土調査しているのか伺う。

【回答】(地域振興課長)

・細八第22地区ということで、主に工業団地周辺になっている。

※国土調査…国土調査法に基づき、国土の実態を科学的に調査する事業で、国土の開発・保全・利用の高度化や地籍の明確化を目的としている。地籍調査、土地分類調査、水調査などがあり、その成果は一般に公開される。



委員会代表質問

【7ページ】総務文教常任委員会副委員長 小林 浩 議員

- 1、町の防災力の向上について
- 2、町の公共交通について

【8 ページ】産業厚生常任委員会委員長 松村 亮 議員

- 1、地域振興について
- 2、農業振興について

一般質問

【9ページ】8番田崎信二議員

- 1、健康づくりの推進について
- 2、米価高騰による備蓄米の対応について

【10ページ】 6番 岩渕 清幸 議員

1、来年度の予算編成方針について

【11ページ】 2番 渡邊 俊典 議員

- 1、会津柳津駅改修について
- 2、町上水道について
- 3、本庁地区の水道水の取水施設について

【12ページ】 7番 新井田 順一 議員

1、小中学校の修学旅行費用の無償化について

事務の執行状況や町の方針について報告や説明を求めることができる。一般質問とは…議員が議長の許可を得て、町の事務全般について質す発言。

0名の議員」が町政を問う

一般質問



議会録画映像のお知らせ



委員会代表質問や一般質問の映像は町の公式ホームページから視聴することができます。(町公式ホームページのURLは「http://www.town.yanaizu.fukushima.jp」です)

スマホやタブレット端末からも、見ることができます!

(右のQRコードをご利用ください)



小林 浩 副委員長

る。 量ポン。

プの導入を考慮してい ポンプの更新時に、(総務課長)小型動

小型動力

なる。

国からの財政措置があ

最小限に抑えることも可能に

ップした。

柳津町としてはど

搬が可能となるので、 両の積込みもなく、

災害を

軽

えるがいかがか。

※ドアツードア方式…タクシ

るのかを伺う。

のような運行方法が合ってい

るので購入を検討すべきと考

総務文教常任委員会代表質問

しいと思われるが、幹部会で

市町村から駆けつけるのは厳

度を活用し整備したい。

機材を精査し、(総務課長)必

し、補助制 必要な資

協議をしていきたい。

が必要になると考えるがいか 員の負担を軽減する取り組み

量化を図る等、

地元団

電機を必要としないため、

すぐに運

アツードア方式を取り入れた

ところ、乗車人数が大幅にア

電機を必要としないため、車ステムという油圧ポンプは発

ったため、デマンド交通のド同じように乗車人数が少なかを運行していたが、柳津町と

県滑川町でも路線バス 委員会で調査した埼玉

大量送排水ハイドロシ 委員会で調査してきた

組織の連携や設備の軽

人口減少による課題にどう対応するのか問う!

- 町の防災力の向上について
- 町の公共交通について

住所のある者が入団できる等、 人団規定を変更する考えはあ る緊急出動では、(総務課長)火災 町出身者で会津管内に 団員の確保対策として 火災によ 他の

> るべきだと考えるがいかが 助活用で防災備品の強化も図

を補助する方針を固めた。

特に第5分団は団員数が少な 統合について協議している。 幹部会で、第4分団との の班が十班ほどあるが、 〔総務課長〕 3名以下 の統合は考えているのか。 されている。今後、班や分団

3名での活動を余儀なく 団員数が少ない班では

員の減少と高齢化が進 八口減少により消防団

事故防止等の観点からも今後

きが分からない団員も増え、

スの担ぎ方等、

基本的な動

基本動作等の訓練も必要だと

考えるがいかがか。

観点からも継続することを期

※デマンド方式…利用者の

予

や経路を変えて運行する方 約に応じて、運行する時刻

式で数種類の型がある。

善のため防災備品の導入費用 内で協議していきたい。 政府は先月、

と感じている。幹部会や役場 の訓練は、 おける避難所の環境改 必要である 災害時に

(総務課長) 基本動作

補 けで運行経費、維持費の削減乗りワゴン車に入れ換えただ が見込まれると思うがいかが いる路線が多くあるが、 乗りのバスで運行して町民バスは現在、29人 14人

必要になるのではないか。

へのアンケート調査も公共交通に関する町民

削減をしていきたい。 とはできない。 えられる路線もあるので経費 てをワゴン車に入れ換えるこ が多い路線もあり、 (総務課長) ワゴン車に替 児童生徒 全

> ト調査を考えている。などについての町民ア 町民の方々の使い (総務課長) 安心して利用でき民の方々の使い勝 運行方式

る運行方法の早期実施を期待 手がよく、



大量送排水ハイドロシステムを積載した自動車

制での出場になり、ホポンプ操法大会が輪番

かかるので、導入の必要性を 十分に考えていきたい。 はあるが、 (総務課長) 一般財源も

でを運行する方式

指定された場所から場所ま と同じように予約により 際的持続可能な開発目標) 付しているが、SDGs た備蓄食料品を小中学生に配 消費期限が近くなっ 国 の

いかと考えている。 ド方式の併用がよいのでは 総務課長 定路線型とデマン 現在の定

7

産業厚生常任委員会代表質問

歴まち計画の今後と持続可能な営農体制について問う!

地域振興について

農業振興について 2

その理由を伺う。

Q

年程度ということだが、 景観計画策定に最低3

間としての3年間。

地域住民

の自治体の平均的な期(みらい創生課長)他

との合意形成には時間をかけ

として考えられるような体制

思いを共有、共感し、

自分事

を持って発信できる唯一

無二 その

などを磨き上げ、自信と誇り

統行事、

伝統食、 町の歴史や伝

景観

(町長)

の町をつくる。そして、

づくりに力を入れていきたい。

なければならない。

うな効果を狙っているのかを

感について伺う。

や新規就農者の現状とその所

おいて、担い手の育成

農業の構造的な政策に

歴まち計画の重点区域

の選定理由と、どのよ



まつむら松村 亮 委員長



りを醸成し、 画することにより、 町民自らが、まちづくりに参 風情等を後世につなぎ、 史的建造物や伝統、 町の振興を図る。 地域の誇 風歴

長



いて伺う。 Q 画に取り組む目的につ 歴史的風致維持向上計

(みらい創生課

効果を期待している。 要文化財がないと策定できな 伝統文化等の振興につながる に8行政区に設定し、 い。「奥之院弁天堂」 観光・ を中心



何を、

どこまで進捗させるの 計画は十年で、 切りのものであるが、

かを伺う。

考える。

景観計画策定に当た

性は優先順位が高いと 景観計画や条例の必要

が、 あると考えている。 民の理解を得ることが重要で 時点では、 時間をかけて、 (みらい創生課長) 明言できな 地域住 現

の構成基準について伺う。

新規で立ち上げる委員会



まち計画は国指定の重(みらい創生課長)歴

況である。

なかなか進んでいない状 や地理的な問題等もあ(地域振興課長)気候

圃場整備の将来に向け 具体的に取り組んでい

等と十分に協議をして進めて いきたい。 などを活用して、土地改良区 が上がってくれば、地域計画 者から整備をしたいという声 と認識している。今後、 生産

域の実態をみると、先にやら業の推進とあるが、地

町長公約にスマート農

ることを伺う。

ひと区

昨今の状況を鑑みて、

総合的

理費や物価高騰など、

(町長)多額の維持管

に判断していきたい。

は、 (地域振興課長) ひと通り完了した 整備

水稲と園芸の生産振興

迎えているが、今後の展望を 感じる。農業政策は転換期を なければいけない事があると

Q について伺う。

指導等を行っていきたい。 を図りながら、支援、 者や関係団体等と連携 (地域振興課長) 協議、 生産

景観条例制定も含めて協議し 管理関係者等を委員に選定し、

識経験者、

建築や道路

(みらい創生課長)学

ていきたい。

方

を、どのように浸透させ

するコンセプト(考え 町長のまちづくりに対

ていくのか伺う。

について、町が考えて 農産物の販売促進政策

農業を推進して、

作業の効率

化を図り、売れる農業、

より、 Rなども必要ではないかと考 りながら、購買力を上げるP 高く売れる販路の拡大等を図 いる出口戦略を伺う。 他の産地との差別化や、 ミング等の付加価値に(地域振興課長)ネー

ていきたい。また、スマート ポートする仕組みづくりをし くしていくための法人化を進 める事により、個人農家をサ 標としている。経営基盤を強 う永続性のある経営形態を目 集積を進め、 (町長) 農地の集約、 法人と



良区からの要望内容、そのも Q 寄与するため、 持続可能な営農体制に 土地改

の考えを伺う。 のに必要性を感じるが、 町長

たさきしんじ田崎信二議員 8番

受診率向上以外の方法がん予防の対策として、

事業」はご

は26名の参加があった。
つ、「柳津町健康ポイントの「健康楽歩」は延べ1(町民課長)令和5年度

0)

A (町民課長)受診率は多から「胃がん」「膵臓がん」「大いるがほがら」「膵臓がん」「大いるがほがら」では、多い順に横ばいで推移している。がほがら、関がん」となっている。

近年の社会的問題への対応を問う

- 健康づくりの推進について
- 米価高騰による備蓄米の対応に ついて

より高いが、国保医療費では、 がんの医療費が1位であるので、がんの医療費が1位であるので、がん検診の受診率を向上させていく。また、高齢者のインフルエンザワクチン接種の助成も始まり、引き続き、情報提供しながら呼びかき、情報提供しながら呼びかき、情報提供しながら呼びかき、情報提供しながら呼びかけていく。 健康づくりについては「やないづ健康楽歩」や「健康づくりについては「やなりについては「やなりていく。 健診受診率は国や県(長)令和5年度の特

A (町民課長)ピロリ菌除 50歳以上の偶数年齢対象の施 設健診による内視鏡検査があ る。胃炎等が発見された場合 には、保険適用で抗体検査が 受けられ、治療もできる。 **ピロリ菌…胃酸のなかでも 生きられる慢性胃炎の原因 になる病原菌。 |蒙を図るべきではない|| 幅広く、町民への指導 討すべきではないか。類あるのか。助成も検新たな予防接種は何種

ように理解を求めていくのか。 米の価格差が大きい今、どの による備蓄米事業への補助を による備蓄米事業への補助を による備蓄米事業への補助を が、販売米と備蓄

【意見】生産調整を考えなく (意見】生産調整を考えなく と思う。

A (地域振興課長)一定のきたい。

という意思統一ができるのという意思統一ができるのという意思統一ができるのというがはまない。 生産者からの協力が得

A ル ルティー等はない(地域振興課長) ~

う趣旨で考えていきた 4

ないのか。 康支援も図っていくべきでは働きざかりの成人に対する健 でも早く取り組んだが、については、全国の中子ども子育て支援事業 こ(町長))力を入れて

A (町民課長)がん検診の がら対応していきたい。 で診率は低い。新しい検

はないのか

では、 を ながる。これらの状況と健康 を を ながる。これらの状況と健康 を で、医療費抑制につい を で、医療費抑制につい を で、医療費抑制につい を を は、疾病の重症

W き

ナ

ロリ菌の除去がある。胃がん対策として、ピ

高騰が起きてし か起きてしまったのか。が、今回のような米価が汰されている中、なる和の米騒動と、取り

全に上回ったからだと思う。 完全に崩れ、需要が

完が

A (地域振興課長)来年度 (地域振興課長)来年度

Tは考えなければならな 重症化するものに

らいる

業津現の世の

の状況を伺う。健康ポイントで 「健康楽歩」

事柳

のか伺う。 多くの農家から「来年 のか伺う。 年に法律で制度化された。作や不作時の流通安定のため日本政府が備蓄食料としている米。平成七の日本政府が備蓄食料としたが開蓄米(政府備蓄米)…凶

9

生産調整に対する協力金といるが、差額の補填ではなく、村の動向等を調べてい

(地域振興課

長

調べてい 近隣町

持続可能なまちづくりの推進を問う

来年度の予算編成方針について



岩渕清幸議員 6番

を伺う。

令和フ年度の予算編成

えている。

町長の方針

しをつなぐまち」実現のた らい創生。ひと・ゆめ・れき 振興計画審議会や地区等 **海興計** 町 長 画の将来像 第6 次柳 一津み町

等を図っていく。 の見直しや未使用財産の処 に応じて行う。 査などをしていく。 予算の確保は、 各種団体等の補助金の精 また使用料等 国県の変化

事業が増えているが、長期安価高騰などのため、臨時的な ※振興計画…自治体のまちづ 定的な財政運営に努めていき 計画。 を定める行政運営の最上位 より策定義務は廃止された くりの将来目標や基本方針 近年頻発する自然災害や物 している自治体は多い。 条例等を根拠にして策 地方自治法の改正に

きたい。 痛めている。ご理解をいただ するしかないが、

などによる優先順位で再構築

必要性・緊急性・費用対効果からの要望を踏まえ、事業の

しとあるが、 設の再編と運営母体の 町長の公約に、 具体策を伺 公共施

ご意見も拝聴しながら行って 今は振興公社を指定管理者と 来的な方向性を視野に入れ、 して施設運営しているが、将 するよう指示を出している。 いきたい。 チームをつくり、 町 長) プロジェクト 検討

ついて伺う。 るとあるが、具体策と予算に 公約では、空き家の利 活用と宅地分譲を進め

による補助制度をつくって改 ただくというような事業が 移住希望の方に入って 町4分の1の財政負担 県4分 員が疲弊してしまうことが 目に着いたが、超過勤務で、 過勤務手当の増額補正今回の補正予算で、超 今回の補正予算で、

況なども見て、

五千万円と考

修し、

び率や返礼品の開拓状(町長)これまでの伸

定するのか伺う。

で借り、

国2分の1、

所有者から10年間無償

っている。

町

長)

町が空き家を

0) 1,

来年度のふるさと納税

の目標額をいくらに設

思っている。 も民間のほうが安くできるの 地を検討しているが、町より できないか、 に強力に要望していきたい。 宅地分譲については、

可能エネルギーの推進を挙げ ているが、 太陽光発電などの再生公約に地熱・小水力・ どう取り組むのか

外部に委託して、地域おこし

一般の人でもできる仕事は

協力隊などの人材も積極的に

登用していきたい。

町が株主等の売電会社。電気 小水力発電については昨年 可能性調査が行われたが については3つあり、 余熱を使った二 地 熱の 取

いる。 観計画等の話し合いの中で、 もあるが、薄いパネルが出て ネルで景観が害される可能性 可能なら応じたいが、まずは、 県から実施の打診等はない。 線引き等をしていきたいと思 くることもありえるので、景 地熱のほうを優先的に考えて ため働きかけをしていきたい。 次熱利用。これらを推進する の地産地消。 太陽光発電については、パ

施策として検討したいと

事を着手できる体制も(町長)町の新たな仕

いろな方面 町有 しを進めていきたい。 必要なので、事務事業の見直

の答弁があったが、どのよう

必要性の精査をすると

各種団体への補助金の

な基準で臨むのか。

(町長)

総合的に判断

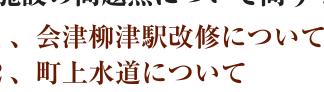
頭を

い。それは、生きたお金の使は出ないかもしれないが、特は出ないかもしれないが、特く平らに使っていれば、不満ことが多いのではないか。広ので、町長は選択を迫られる すので、しっかり、担当課にい方ではないと考えておりま る予算編成となるよう期待 指示を出して、めり張りのあ (意見) 予算は限られている

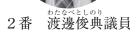


事業の見直しが必要だと考え無いようにDXの推進と事務 るがいかがか。

町の施設の問題点について問う



本庁地区の水道水の取水施設に ついて



理をどうするのか伺う。

になっているが、

漏水等の管

槽までの配管ルートが雑木林

町上水道について、 井沢の水源地から受水

軽

生時は瞬時に職員へ警報が届

テムを導入し、

漏水発

(町長)

施設監視シス

改修方法等を確認していく。 が、どのように改修するのか。 の補修施工を考えている。 けでなく剥離の可能性もある 分耐えられるような、 だいたが、ひび割れだ 設計図書を見せていた 想定して、 (町長) (町長) 寒い冬にも十 凍結割れ等も 来年春以降

場監理も委託されているが、 していただきたい。 と施工業者の責任とを明確に 完成引渡と判断した管理責仟 設計した事務所は現

改善していくべきだと考える 改善が必要ではないか。 がいかがか。 度にではなく、年次計画で 仮設用で露出しており、 椿から藤までの配管が 町 長) 平成23年7月 また

だが、 的に道路下への埋設を検討中 管により供給している。地理水池から藤地区へ仮設の配水 働不能となったため、 より藤地区浄水場が水没し稼 多額の工事費が見込まれ 起伏が激しく延長も長 新潟・福島豪雨災害に 柳津配 調査、

に適した方法により整備をし 一短があり、今後もその場所管の埋設方法については一長 覚知し、早期に現地調査、 急修繕等の対応を取っている。 現地に行かずとも現状を 緊

引き渡し時から起きていたの

今も改善が見られないの

待合室の土間仕上げの割れは

般質問で指摘したが、

事について、六月、九 会津柳津駅舎の改修工

はなぜか。

用いて修理、 は必要な機材や人手を (建設課長) 管理をしていく。 漏水時に

ないが、別な場所からの取水 透水が混ざる懸念も捨てきれ 水してしまうことと、川の浸 は考えられないのか。 上げているが、氾濫時には冠 現在の取水施設は只見 川近くの地下水を汲み

りをしていれば、現状のよう

にはならなかったはず。

今後

ったわけなので、

通路の草刈

車両も重機も行ける通路があ

(意見) 配管工事をした際は、

の管理をしっかりしていただ

得ており、 柳津配水池に新たな浄水設備 ことが懸念されるため、 は令和3年度に県から認可を 水の安全供給を図る。 どの病原菌を除去し、 分をはじめ細菌やウイルスな 導入することにより、 的には、膜ろ過方式の設備を の整備を予定している。具体 際に冠水し水質に影響が出る ていない。只見川が氾濫した が確保できる適地は見つかっ 以上に良質かつ取水量 (町長) 令和7年度に地質 現在まで同等 良質な 濁質成 本計画 現在、

として利用している住民も多 考えている。 ることや県道であり生活道路 も十分に協議し対応したいと いことから、県や地区住民と

し、2か年計画で竣工を目指

令和8年度から本工事に着手

凍結の心配はない。 (建設課長) 露出して

めていきたい。 る限り費用を抑制しながら進 いることから目視でき でき

> という報告がある。軽井沢川 河川から多く検出されている ろ過装置では取り除けないし、 きると考えるがいかがか。 が、利用すれば自然勾配で配 の検査による)な水源がある の上流に大量の良質(保健所 水でき、維持管理の節約がで Q ん性が危惧される物質)は、 - ファス:人体に蓄積し発が れているPFAS(ピ 現在、全国で問題視さ

提案としてお預かりいたしま 給水量が必要なので、 建設課長)区域 への供





良い政策は、素早く実施すべき ではないのかを問う

小中学校の修学旅行費用の無償化 について



新井田順一議員 7番

激に進み、家計を圧迫し、教

苦慮しているが、物価高が急

らず各自治体も対策に

少子化に歯止めがかか

育にかかる保護者の負担も大

を図ってまいりたい。 や緊急性の高いものなど、優どで義務づけられているもの いる。 社会経済情勢が変わっていく めながら、子育て支援の充実 当可能な財源があるかを見定 先順位を精査し、 援策を注視しながら、 って進めていくべきと考えて 負担の枠組みは国が中心とな けることが基本であり、 ながる一方で義務教育は全て 高騰するようなことがあれば、 の児童生徒が平等に教育を受 修学旅行の費用が著しく 国の無償化や子育て支 全国の取り組み状況に 負担の軽減につ 子育て世帯の 恒久的に充 法令な 公費

> 中学校のみ6万円を超えた分助をしている。三島町では、 中学校が1人7万5千円の補年度から小学校が1人2万円、 として沖縄県の時のみに限定 を補助しているが、平和教育 うである。金山町では平成26 りで、追加の支援は難しいよ 給食費の無償化を始めたばか津坂下町、湯川村、昭和村は 両沼管内では会津美里町、 調査はしていないが、(教育課長)全国的な

用を無償化する自治体が増え

な割合を占め、近年全国で費

る。中でも修学旅行は大き

活動に参加できるよう配慮す も子供も学校も安心して教育 修学旅行を無償化し、保護者 てきた。まずは負担の大きい

いるか。 長の判断をどのように考えて の動向に先駆け無償化した首 で実施しているが、国

となのだと思う。 置き政策をつくり、予(町長)どこに重点を

る事業などに多くの一 局と協議しながら判断 の施設管理や教育の振興に係 を投入しているので、 には、学校や美術館等 (教育課長) 教育予算 財政当一般財源 して

いる。 子どもが未来であると感じて 未来永劫つなげるためには、 今の子育て支援で十分 宝とよく言われるが、 子どもは国の宝、 町 長 町 の子育て支

テーマだと考えている。 考えて行かなければいけない 分だとは思っていない。 日々いると評価してはいるが、 十 援策は非常に充実して

かどうか伺う。 や優先順位を精査するという 今そういうものはあるの べきで、 (無償化は) 国がやる 施策の緊急性

ては困るので、 っていきたい。 (町長)

うのと同じようなことになっ 染み込むことなく流れてしま がコンクリートの上 良案でも、 しっかりとや を



うあ

ってほしいという思いと

は想像できないが、こ(町長)15年、20年後

つくものは何か。

ことを聞かれたときに「柳津の未来」という

ついて調査しているか。

てほしい。町の大切なものを 顔で暮らしていける町であっ しては、子供たちや町民が笑

未来永劫につないでい

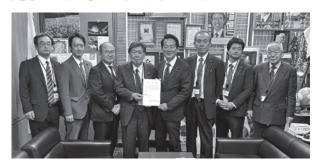
事量は増え、一般職員から管もしれない。現在、職員の仕なので、観光資源にもなるか虚空蔵様は知恵を授ける菩薩 か。いただきたいと思うがいかが揮して、この課題を解決して いるが、リーダーシップを発理職までも疲弊状態になって 進にもつながる。また、圓藏題性もあって、移住定住の促2人目以降の出産が望め、話 そのメリットとして、子育て 世帯の経済的負担が軽減して 学旅行の経費の無償化をやっ 寺の「十三講詣り」があり、 しては、 けの問題ではなく、 本当に早いと思う。 県内での取り組みと

各種事業の報告



両沼地方町村議会議長会中央要望会

両沼地方町村議会議長会では2年に一度、両沼地方町村議員大会を開催し、各議会からの要望(主に道路や河川に関するもの)を取りまとめ、国や県に要望しております。今年は11月12日に各町村議会の議長が衆議院と参議院会館を訪れ、昨年の第34回議員大会で決議した要望書を地元出身の国会議員の方々に手渡し、早期に実現できるように要望しました。



県道滝谷桧原線 桧原バイパス中心抗設置式

12月1日、三島町桧原地内において、県道滝谷桧原線桧原バイパスの中心杭設置式が行われました。

県や地元区長などの関係者のほか、三島町、昭和村、柳津町の2町1村の代表者として、町村長や議会議員が出席し、工事の安全を祈願いたしました。

県道滝谷桧原線は、当町の支所地区や昭和村などと三島町を結ぶ重要な道路であり、早期の完成が期待されています。



定期監査

10月21日から7日間、令和6年度上半期の町会計事務及び経営管理状況に関する会計監査を行いました。その結果について、意見書(概要は下記のとおり)を提出しました。

一 令和6年度 定期監査意見書 一

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づき、10月21日より11月5日までの期間中7日間にわたり定期監査を実施したので、監査の結果に関する報告書を添えて、下記のとおり意見書を提出します。

- 1、町職員は法令、県条例、町条例、規則を熟知し、これを順守することが最も重要です。与えられた職務の中で、また町の職員として常に課題を認識し、課題解決のために国や県の動向を把握し、日々更新される政策を町政に反映させ、政策の先取りと財源の確保を行い、効率的、効果的な町政運営を図る必要があります。このために、職員自ら、特に係長、課長は福島県や近隣市町村とのパイプを太くし、町の実情を発信すると共に、新たな情報を取得し、町行政、町財政に反映させてください。
- 2、各種団体等の公金管理が82件と非常に多くあり、事故防止や職員の負担軽減の観点からも、当該団体の 理解を得て極力減らすよう指摘しておりましたが、この1年間で8件の削減に努めていただきました。引き続き 更なる削減に努めてください。
- 3、農業関係補助金については、非常に煩雑で区分が 難しいものがありますので、補助金の整理統合に努め てください。
- 4、地方自治法における予算制度、町財務規則などを習 熟し、効率的な行財政運営を行ってください。

令和6年12月2日 代表監査委員 岩佐 利昭 議員監査委員 新井田 順一



今さら聞けない! のかも?

請願・陳情の制度について

○請願書・陳情書(要望書)について

- ・請願とは、憲法や地方自治法、町議会会議規則などで定められている、国民の皆さんが、町政など(身近なことなど)について、直接、議会等に要望できる制度です。なお、<u>請願には「議員の</u>紹介」が必要となります。
- ・陳情(要望)とは、住民の皆さんが町政など(身近なこと)について、利害関係を有する場合などにおいて、議会等にその実情を訴えることができる制度ですが、請願とは異なり法的な定めはありません。

◇請願書の提出について

・議会へ請願書を提出する場合には、所定の記載をして、添付書類等を整えてから、議会事務局に提出してください。書式は特にありませんが、次のような形でお願いしていますので、ご協力ください。

○○○○○に関する請願書

令和○年○月○日

柳津町議会議長 ○○○○ 様

請願者 住所 氏名

(FI)

紹介議員 (氏

(FI)

(署名または記名押印)

名)

下記のとおり、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

記

- 1. 件 名 ○○に関する請願
- 2. 請願の要旨 ○○○・・・・・・
- 請願の理由 ○○○・・・・・・
- ・請願の内容について、意見書の提出を求める場合には「○○○についての意見書(案)」を忘れずに添付してください。

◇陳情書(要望書)について

- ・柳津町議会では「陳情書 (要望書)」の取り扱いについては、請願と同じです。
- ※お問い合わせは 議会事務局 TEL: 0241-42-2390 E-Mail: gikai@town.yanaizu.fukushima.まで。

てんなことも 決めました

第1回臨時会の主な議案の内容

令和7年第1回臨時会が1月20日に行われ、工事請負契約の変更2件を審議し、原案どおり決定しました。

工事請負契約の変更

令和6年第3回臨時会で可決した町道五畳敷大成 沢線(四ッ谷地内) 土砂撤去工事請負契約について、 契約金額の増額をする変更契約を可決した。

【主な増額の理由】

実際に工事を施工したところ、資材購入や機械借上 経費などの増額が必要となったため。

契約金額 1億2,055万7,800円契約の相手方 有限会社 西村土建 代表取締役 猪股 勝

工事請負契約の変更

令和5年第1回臨時会で可決した大成沢・胄中 地区取水・導水施設整備工事請負契約について、 契約金額の減額をする変更契約を可決した。

【主な減額の理由】

令和5年度からの繰越事業であるため、今年度で 期間満了となる。施工できないと見込まれる内容(仮 舗装の復旧工事など)の部分を減額した。

契約金額 1億188万2,000円 契約の相手方 両沼公産株式会社 代表取締役 田村 隆幸

町議会 特別職報酬等検討委員会を開催

現在、地方を取り巻く情勢は少子高齢化や人口減少が急速に進み、「担い手不足」が深刻化しており、地方議会においても議員のなり手が不足する状況となっております。

このことは、一部の町村議会の問題だけではなく、地方自治の弱体化を招き、国や県の危機にもつながる重要な問題です。当町議会でも検討委員会を立ち上げ、報酬等の見直しを審議しています。

これまで、県内の人口同類の町村の実態や両沼管内の見直し状況などを参考に協議し、また、原価 方式 (議員の年間活動割合を首長の報酬額を基に計算)による試算も行い、検討したところです。今 後も持続可能なまちづくりを実現するため、町民のご意見等を幅広く聴き、その負託に応えていくた めにも、議会体制の見直しを行ってまいります。

只見町議会運営委員会 行政視察のため来町

1月22日、只見町議会運営委員の皆さんが当町の議会運営を視察するため、来町されました。只見町においても人口減少や担い手確保など、当町と共通する課題が多く、より良い地域づくりのため、議会として果たすべき役割を模索されています。今回の視察を通じ、議会体制、委員会の活動状況などについて意見交換を行い、理解を深めました。



募集します! - 議会モニターになってみませんか?

町議会では、定例会の運営等について、町民の皆様からのご意見を伺い、今後の議会運営に反映させるため「議会モニター制度」を実施しております。令和7年度における議会モニターを下記のとおり募集します。

【 資 格】①満18歳以上の町民の方(町役場職員を除く)

- ②町議会の仕組みや運営に関心がある方
- ③町政及び地域社会の発展に関心がある方

【任期】令和7年4月1日~令和8年3月31日(1年間)

【業務内容】①定例会を傍聴し、会議の運営等に関するご意見を文書等で提出する。

- ②議会だよりやホームページに関するご意見を文書等で提出する。
- ③議員との意見交換会に参加する。(年1回程度)

【 応 募 期 間】令和7年3月3日(月)から3月28日(金)まで(郵送の場合は当日消印有効)

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入し議会事務局まで持参、郵送、FAX、メール、いずれか

の方法でお申し込みください。

(申込用紙は町のホームページよりダウンロードしていただくか議会事務局で交付いたします。)

【お問い合わせ】議会事務局

TEL: 0241-42-2390

※町のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。



議会の動き(令和6年第3回定例会以降)

町空き家等対策協議会 9月13日

本庁地区敬老会、支所地区敬老会 15日

秋の全国交通安全運動宣言式 19日

(議長、総務文教常任委員長) 県道会津高田柳津線・赤留塔寺線整備促進期成同盟会総会(議長、産業厚生常任委員長) 10月2日 (議長)

市町村対抗ソフトボール大会結団式・壮行会

5日 町教育講演会 (総務文教常任委員長)

10月15日 両沼地方町村議会議長会 福島県庁・出先機関要望会 (議長)

25日 県町村議会議員研修会(郡山市)

(議員全員) 26日 日本遺産フェスティバルin極上の会津オープニングセレモニー(議長)

11月3日 自治功労者表彰式

(議員全員)

県道柳津昭和線・滝谷桧原線整備促進期成同盟会県要望会(議長、産業厚生常任委員長) 5 H 国道400号杉峠改良促進期成同盟会県要望会 (議長)

総務文教常任委員会行政調査(埼玉·栃木県方面~11月7日)(総務文教常任委員) 6 日 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会選手壮行会 (産業厚生常任委員長)

7日 産業厚生常任委員会行政調査(長野・新潟県方面~11月8日)(産業厚生常任委員)

10日 町消防団秋季検閲式

両沼地方町村議会議長会中央要望(東京都) 12日

第68回町村議会議長会全国大会(東京都) 13日 町戦没者慰霊祭

市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会報告会・解団式 17日

27日 議会運営委員会 (議員全員)

(議長)

(議長) (産業厚生常任委員長)

(産業厚生常任委員長)

(議員全員、~9月16日)

(議長)

(議会運営委員、議長)



県町村議会議員研修会場の様子 10月25日



11月12日 両沼地方町村議会議長会中央要望(参議院会館)の様子

齢化が甚だしく進んだ、

最も厳

少子高

い地域に住んでいる者の一人

切にしております。

を大にして申し上げることを大

町民の皆様からの小さな声 私の議員活動の信条とし

大変恐縮であ

次回定例会のお知らせ

3月5日(水)~3月14日(金) 《3月5日 午前10時開会》

令和7年第1回定例会

・初日は「一般質問」を行います。

ゆきげ館とふれあい館ではテレビ傍聴できます。

すべきではないかということで

うものを、もう一度、良く見直

す。これは、小さな声、

少数の

体で最も進んでいる考え方とい

として思うことは、

社会全

副委員長 広 委 報常任 員

伊荒渡小新 Ħ 藤 明 邊 正俊 順

純一典浩一

ますが、今は、 政治というものなのでは

全体に増やしてやるということ べきではないかと思ってはおり おります。我が町議会でも行う 民アンケートを行ったと聞いて じであると思っております。 **蒠見を良く聞くということと同** 今後の町をどうするかという か」と考えているところです。 会津美里町議会では町 「仕事の場所を町 荒明正一

ちょっと

からも稀な豪雪に見舞 今年は立春を過ぎて